

令和7年度神奈川県相談支援従事者初任者研修 共通講義

## 研修受講ガイダンス（オリエンテーション）

本研修の獲得目標・プログラム概要・学びの見取り図

特定非営利活動法人  
かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク

1

## 受講に当たって

- 令和7年度、相談支援従事者初任者研修の受講にあたり、日本相談支援専門員協会のWEB講義（Eラーニング）では、講義前のガイダンス講義はありません。
- WEB講義を受講する前に必ず、本研修構造の理解を深める意味で、各講義の流れと獲得目標、受講前・受講後の振り返りシートの目的などをご理解頂くために、本ガイダンスを先ず読み込んで頂きたいと思います。
- なお、末尾の「神奈川県相談支援従事者人材育成ビジョン（抜粋版）」を是非ご確認頂きますよう、合わせてお願い致します。

日本相談支援専門員協会作成のガイダンス「受講に当たって」を一部改変

2

## 本科目の流れ（ガイダンスの概要）

はじめに

- ① 相談支援専門員の役割・ミッション
- ② 相談支援専門員に必要とされる力
- ③ 職業教育の理論と方法
- ④ 相談支援専門員の人材育成体系
- ⑤ 継続的な学びの必要性
- ⑥ 本研修の獲得目標
- ⑦ 本研修のプログラムとその構造

まとめ

平成30年度 障害者総合福祉推進事業「相談支援従事者研修ガイドラインの作成及び普及事業」  
新カリキュラムに基づく相談支援従事者養成研修モデル研修(初任者研修)資料を引用し、一部改変

3

## 本科目の概要と獲得目標（1）

### 【概要】

- ① 相談支援専門員の人材育成体系とその方法、その中での本研修の位置づけと獲得目標について講義を行う。
- ② 本研修の科目概要と科目間の相関について講義を行う。
- ③ 職業教育や学習の理論について講義を行う。


### 【獲得目標】

- ① 初任者研修の狙いや獲得目標、研修全体を通して学ぶことなど初任者研修の構造と内容を把握し、本研修に臨む姿勢や方法を理解する。
- ② 本研修が相談支援専門員の人材育成体系の一部であることとその全体の中での位置づけを知り、継続的な学びの必要性を認識する。

平成30年度 障害者総合福祉推進事業「相談支援従事者研修ガイドラインの作成及び普及事業」  
新カリキュラムに基づく相談支援従事者養成研修モデル研修(初任者研修)資料を引用

4






技術だけでなく、「そもそも」のことに目を向ける

そもそも、相談支援って  
何のための仕事なの？  
どんなことをする仕事なの？  
その仕事ができるようになるにはどうしたらいいの？

教えてもらってどういうこと？  
先生がいて授業を聞いたり、  
与えられた問題を解くのが勉強なの？

－現場に戻ったら、  
誰かが答え合わせしてくれるのかなあ？－

学びかた、育ちかたに目を向ける。




平成30年度 障害者総合福祉推進事業「相談支援従事者研修ガイドラインの作成及び普及事業」  
新カリキュラムに基づく相談支援従事者養成研修モデル研修(初任者研修)資料を引用

7

技術だけでなく、「そもそも」のことに目を向ける 1

そもそも、相談支援って  
何のための仕事なの？  
どんなことをする仕事なの？  
その仕事ができるようになるにはどうしたらいいの？

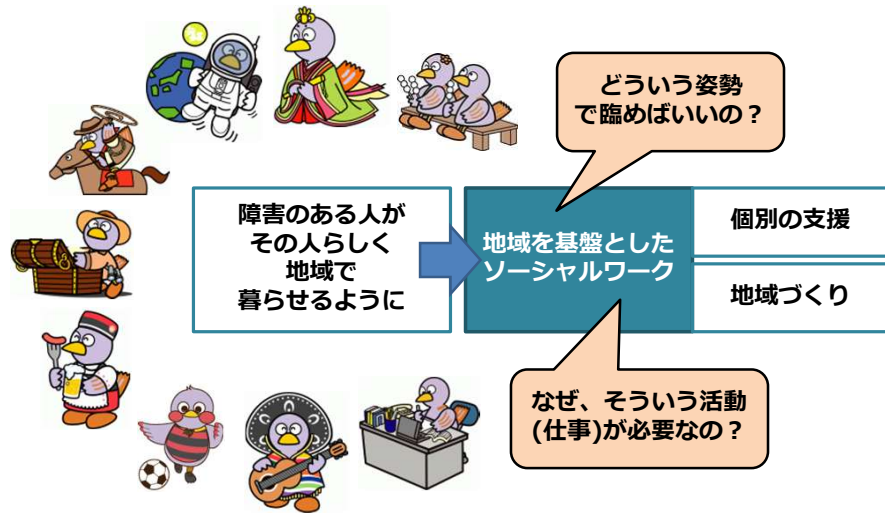
- ① 相談支援専門員の役割・ミッション
- ② 相談支援専門員に必要とされる力



平成30年度 障害者総合福祉推進事業「相談支援従事者研修ガイドラインの作成及び普及事業」  
新カリキュラムに基づく相談支援従事者養成研修モデル研修(初任者研修)資料を引用

8

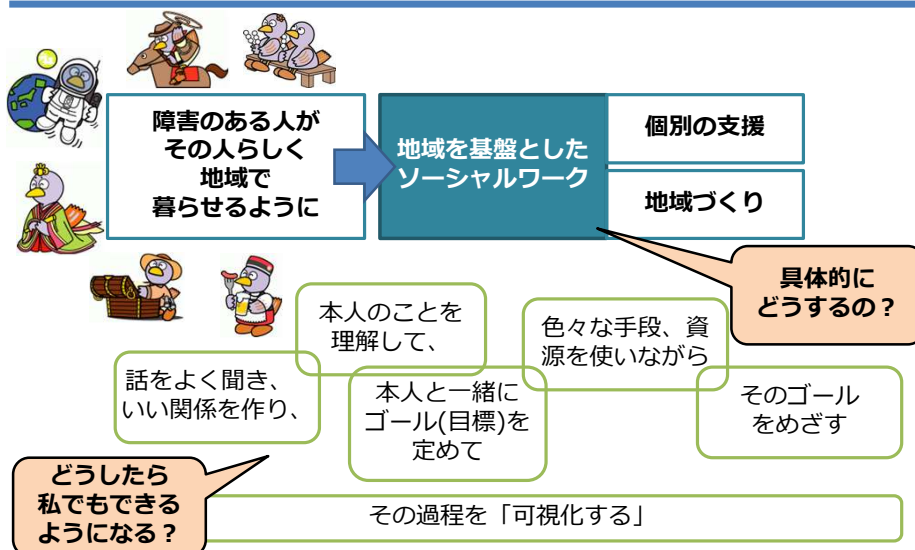
## 相談支援の役割・ミッション



平成30年度 障害者総合福祉推進事業「相談支援従事者研修ガイドラインの作成及び普及事業」  
新カリキュラムに基づく相談支援従事者養成研修モデル研修(初任者研修)資料を引用

9

## 相談支援の役割・ミッション



平成30年度 障害者総合福祉推進事業「相談支援従事者研修ガイドラインの作成及び普及事業」  
新カリキュラムに基づく相談支援従事者養成研修モデル研修(初任者研修)資料を引用

10

教えてもらってどういうこと？  
先生がいて授業を聞いたり、  
与えられた問題を解くのが勉強なの？

－現場に戻ったら、  
誰かが答え合わせしてくれるのかなあ？－

2 学びかた、育ちかたに目を向ける。

- ③ 職業教育の理論と方法
- ④ 相談支援専門員の人材育成体系
- ⑤ 継続的な学びの必要性



平成30年度 障害者総合福祉推進事業「相談支援従事者研修ガイドラインの作成及び普及事業」  
新カリキュラムに基づく相談支援従事者養成研修モデル研修(初任者研修)資料を引用

11



**大きな  
誤解です**

今回、講師が教えることをちゃんと消化すれば、  
仕事ができる人になれる。

講師のミッションは、  
みなさんを仕事ができる人にすることだ。

法定研修であるこの初任者研修には  
仕事ができるようになる全てが網羅されている。

がんばってこの研修を受けたら、  
現場に戻って仕事ができるようになる。

平成30年度 障害者総合福祉推進事業「相談支援従事者研修ガイドラインの作成及び普及事業」  
新カリキュラムに基づく相談支援従事者養成研修モデル研修(初任者研修)資料を引用

12

## 職業教育の理論と方法

### 【教育方法の変遷】

- 一方通行、1対多の「教授-学習モデル」が一般的な教育方法だと考えられた時代が続いた(現場では)。
- しかし、心理学や教育工学の分野から、主体的かつ積極的(対話的)、発見的な学習方法とその実現のための学習環境デザインの研究が進展した(※様々な理論や理論や方法があります)。
- 特に、社会福祉のような正答が一意に定められがたい(正解か検証困難な)対人援助の分野では、特に効果的と言われている。

指導者側の姿勢もまた大きく変遷

### 【職業教育の理論】

- もともと職業教育の理論では、提示-模倣-実践-省察等の相互作用やサイクルの重要性が謳われることが多い。

平成30年度 障害者総合福祉推進事業「相談支援従事者研修ガイドラインの作成及び普及事業」  
新カリキュラムに基づく相談支援従事者養成研修モデル研修(初任者研修)資料を引用

13

自ら主体的に学んだことこそ  
真に血となり肉となります。

講師が教えることをちゃんと受け取りさえすれば  
仕事ができる人になるわけではありません。

講師がみなさんを仕事ができる人  
にするものではありません。

### 参考：メリルの学習環境デザイン原理

#### 問題の提示

「この問題もできるかな？」  
→「よし、やってみよう！」

#### 活性化

「今の力でできないかな？」  
→「むずかしいな。新たな学びが必要だ。」

#### 例示

「まずはお手本を見せます。」  
→「なるほど！そういうことか。」

#### 応用

「今度は自分でやってみましょう。」  
→「なるほど！方法がわかりました。」

#### 統合

「現場でやってみてください。」  
→「少しずつできるようになってきました。」

前提には、動機づけ(意欲、モチベーション)

#### 学習とは

- ・ 自ら発見する。  
(気づく)
- ・ 気づいたことを定着させる。

★「習う」ことに慣れすぎていませんか？  
→「学ぶ」へ

★主体的、参加型(対話的)な学習とは？

平成30年度 障害者総合福祉推進事業「相談支援従事者研修ガイドラインの作成及び普及事業」  
新カリキュラムに基づく相談支援従事者養成研修モデル研修(初任者研修)資料を引用

14

自ら主体的に学んだことこそ  
真に血となり肉となります。

講師が教えることをちゃんと受け取りさえすれば  
仕事ができる人になるわけではありません。

講師がみなさんを仕事ができる人  
にするわけではありません。

### ①「問い」を持って参加する。聴く。

- ・問いのヒントが獲得目標にあります。
- ・振り返りシートも活用してください。

### ② 頭と手と口、時には体全体を動かす。

- ・啓示は降りてきません。意識すると気づきます。
- ・積極的に参加しましょう。参加型の演習を多く取り入れています。「間違い」や「ひとつの正しい答」はありません。怖がらず意見を出し合いましょう。

平成30年度 障害者総合福祉推進事業「相談支援従事者研修ガイドラインの作成及び普及事業」  
新カリキュラムに基づく相談支援従事者養成研修モデル研修(初任者研修)資料を引用

15

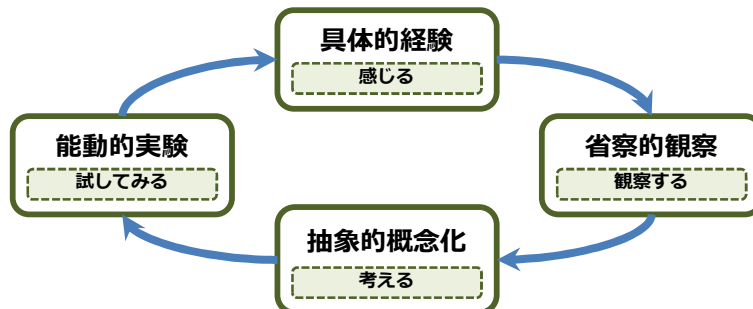
継続的な学びが必要です。  
- 経験と概念化 -

この研修で仕事ができるようになる  
全てが網羅されているわけではありません。

この研修を修了しさえすれば、現場に戻ってすぐ  
仕事ができるようになるわけではありません。

### 参考：コルブの経験学習モデル

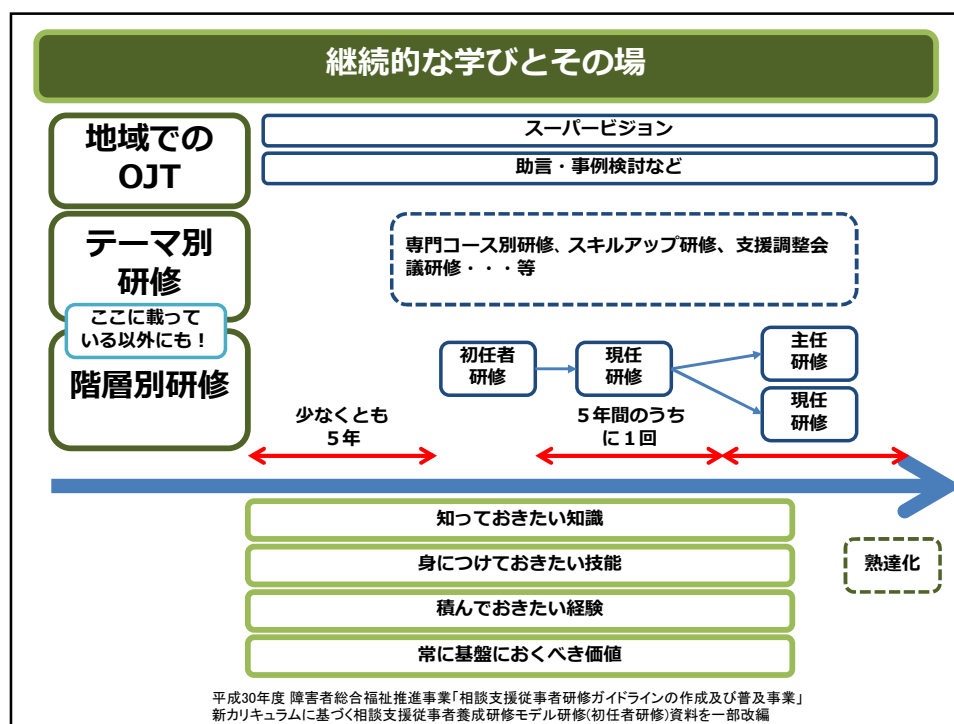
- 【研修】でもこのサイクルが重要  
・受け身で情報(知識)を一方通行で受け取るだけでも、単に発散するだけでも効果は薄い。  
【学び】全体でもこのサイクルが重要： **研修が終わってからが重要**  
・研修も時に必要、現場での実践とその振り返り(スーパービジョン等)も重要。



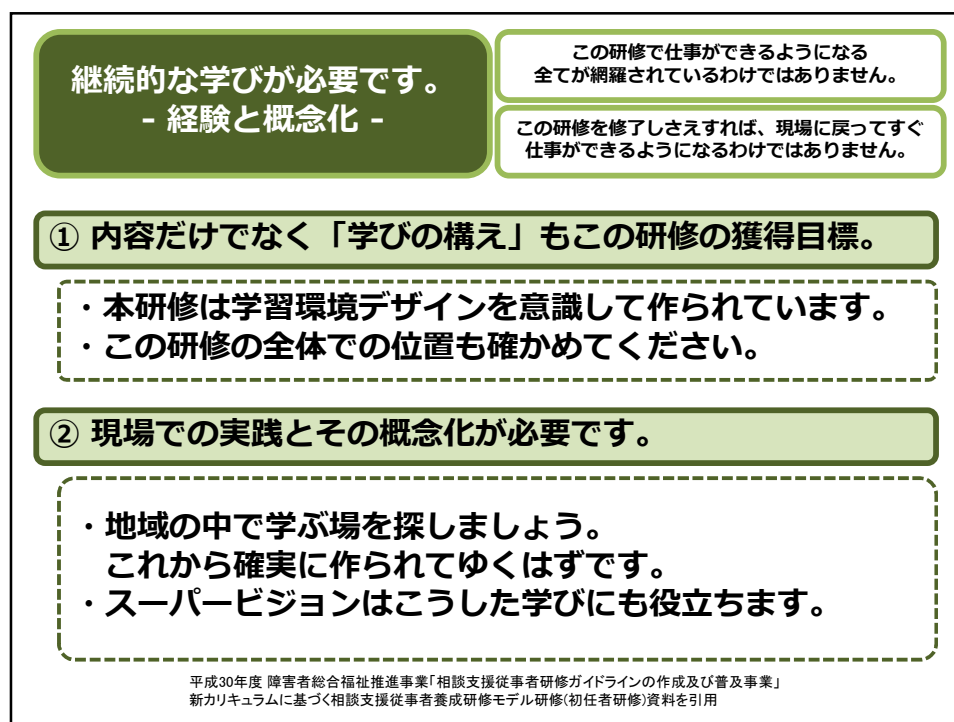
平成30年度 障害者総合福祉推進事業「相談支援従事者研修ガイドラインの作成及び普及事業」  
新カリキュラムに基づく相談支援従事者養成研修モデル研修(初任者研修)資料を引用

16





17




18

## 初任者研修では、何をどう学ぶの？


3

さあ、いよいよ始まります。



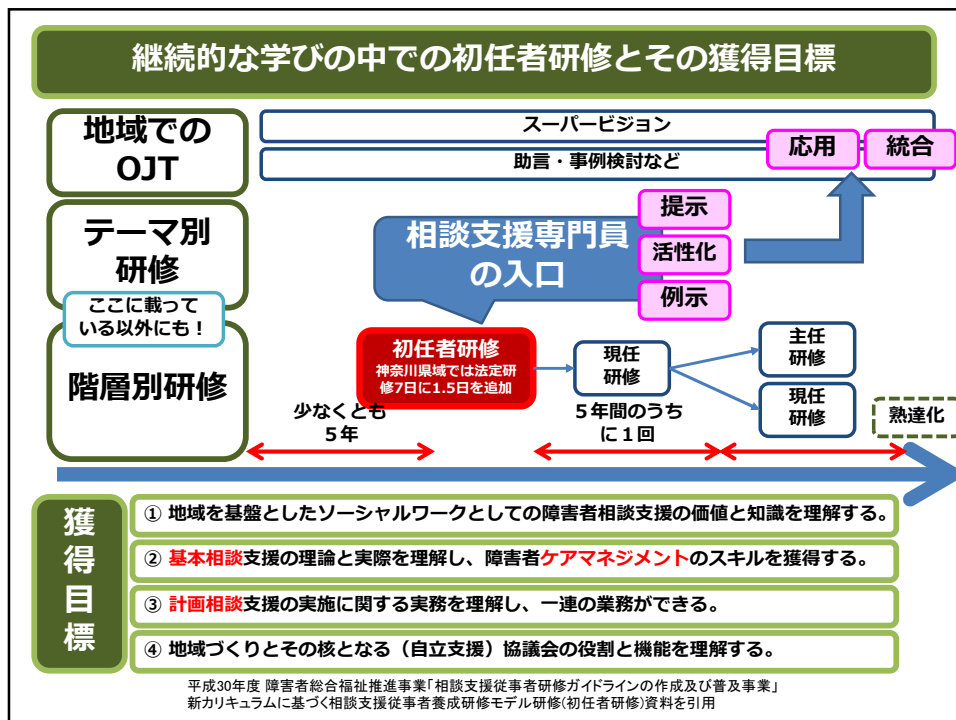
⑥ 本研修の獲得目標

⑦ 本研修のプログラムとその構造

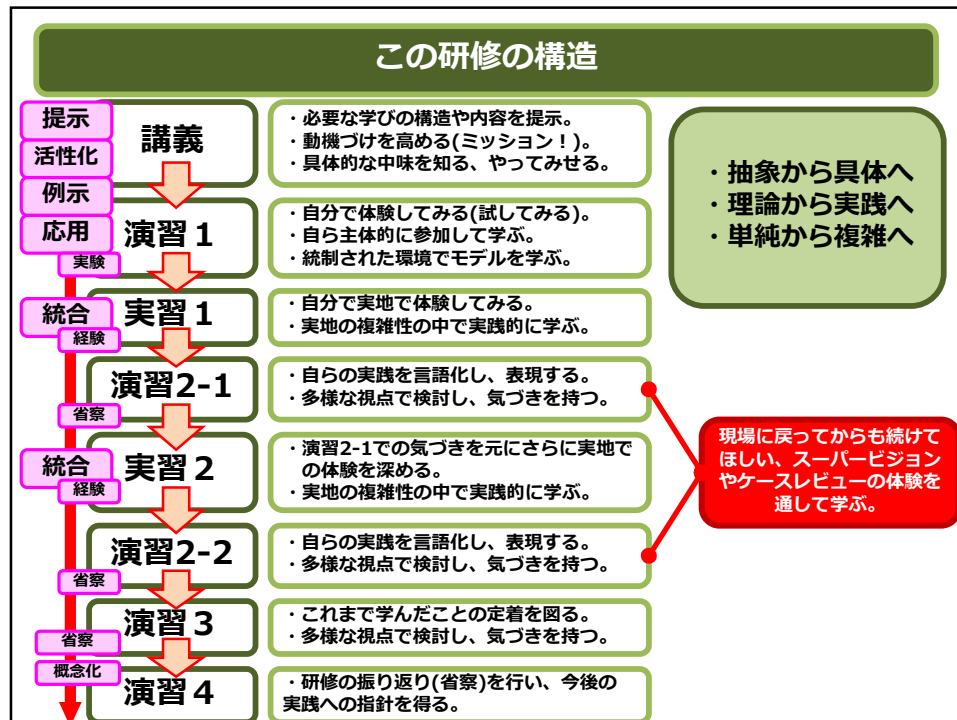


平成30年度 障害者総合福祉推進事業「相談支援従事者研修ガイドラインの作成及び普及事業」  
新カリキュラムに基づく相談支援従事者養成研修モデル研修(初任者研修)資料を引用

19



20



21

## まとめ（この科目のポイント）

- ① 相談支援従事者の役割・ミッションについて説明できますか？
- ② 相談支援従事者に必要とされる力について説明できますか？
- ③ なぜ学びとその継続が必要か、具体的にどのような学びの方法があるかについて説明できますか？
- ④ 相談支援専門員の人材育成体系について説明できますか？
- ⑤ 継続的な学びの必要性について説明できますか？
- ⑥ 本研修の獲得目標について説明できますか？
- ⑦ 本研修の構造について説明できますか？

※もう一度、自分の振り返りシートを確認しましょう。  
どのような気づきや知識・視点の獲得がありましたか？

平成30年度 障害者総合福祉推進事業「相談支援従事者研修ガイドラインの作成及び普及事業」  
新カリキュラムに基づく相談支援従事者養成研修モデル研修(初任者研修)資料を引用

22

## まとめ

## 【確認しましょう】

- ・講義の前後でどのような変化がありましたか？
- ・講義後の気づきを具体的に記入してください。

[illegible]

平成30年度 障害者総合福祉推進事業「相談支援従事者研修ガイドラインの作成及び普及事業」  
新カリキュラムに基づく相談支援従事者養成研修モデル研修(初任者研修)資料を引用